

教頭通信デジタル

令和4年5月31日（火）第4号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

学びが見える

先週の木曜日、岡山県教育委員会と備前市教育委員会から4名の先生方が三石中学校を訪問されました。6校時目の授業（3A家庭・2A理科・1A数学）を参観されました。どの教科の授業においても、生徒たちは先生

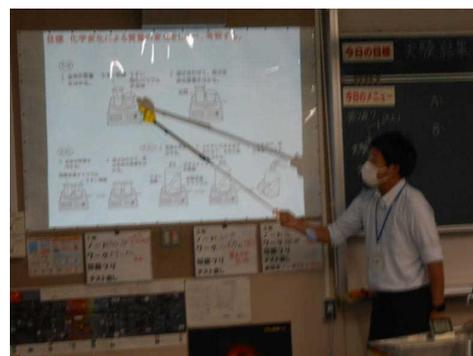


の話をも真剣に聞き、ペア学習やグループ学習で意見を交流することで新たな気づきを得ることができました。



三石中学校はICT機器の活用において先進校です。3A家庭の授業では授業の開始に興味深い映像を流すことで、生徒の学習意欲を向上させることに成功していました。一人一台タブレット端末を利用し、一人一人の意見や考えをデジタルで共有することで、理解を深めることができました。2A理科では実験の手順をプロジェクターで投影することで、非常に分かりやすい説明が可能になりました。グループでの実験を

とおして、対話的な学習が展開できていました。石原先生と橋本先生のチームティーチングによる授業で、二人の先生方が役割分担しながら生徒を支援していました。1A数学では、累乗の指数の計算を学習しました。間違いやすい問題をピックアップし、学習した事柄を活用しながら、計算方法を考えることができました。生徒からは、「わかった」、「こういうことか」、「納得しました」といった発言が多く聞かれ、深い学びが実現できました。具体物（ほうき）を使ったユニークな説明により、全ての生徒が理解できていました。教育委員会の先生方からは、次のようなコメントをいただきました。



①生徒と先生の間関係が素晴らしい。授業をとおして信頼関係の深さが伝わってきた。

②先生は生徒一人一人の理解度を確認しながら、丁寧に授業を進めていた。

③ICT機器を効果的に活用できている。県下でも先進校である。

④授業の初めに【めあて】を示し、終わりには先生による【まとめ】と生徒による【振り返り】がきちんと行えている。

⑤生徒が主体的に自分の意見や考えを説明する場面が設定されており、表現力向上につながっている。



弓井先生（3A家庭）、石原・橋本先生（2A理科）、松尾先生（1A数学）、生徒の学びが見える授業公開、ありがとうございました。